

研究課題名	2次肺癌に対する最適な術式の検討
研究期間	実施許可日 ～2035年12月31日
研究の対象	2007年4月～2025年3月の間に広島大学病院呼吸器外科および国立病院機構呉医療センター中国がんセンター呼吸器外科で原発性肺癌に対して根治的肺切除術を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：2回目の肺切除による術後呼吸機能低下、予後の実態を明らかにすることです 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、術後呼吸機能や予後について解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療録から手術回数、年齢、性別、術前 PS、喫煙歴、喫煙指数、術前身長、術前体重、併存疾患、術前 CT 所見（腫瘍の位置、腫瘍径、充実径、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、肺気腫・間質性変化の有無）、術前 PET-CT の SUV 値、血液検査(CEA、シフラ、SCC)、術前呼吸機能（FEV1.0、%FEV1.0、VC、%VC、FVC、%DLCO）、臨床病期、手術日、術式、切除部位、手術時間、出血量、術後合併症、癒着療法の有無、病理学的組織型、病理病期、病理学的因子（静脈侵襲、リンパ管侵襲、胸膜浸潤）、術後補助療法の有無（レジメン含む）、術後6か月時点・12か月時点の呼吸機能（FEV1.0、%FEV1.0、VC、%VC、FVC、%DLCO）再発の有無、再発部位、再発後治療内容、無再発生存期間、全生存期間、死因、2次肺癌手術日、再発日を調べる予定です。 情報の管理責任者： 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
利用または提供を開始する予定日	2025年5月14日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人 研究機関の長 広島大学理事 田中純子

	研究代表者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人 共同研究機関 国立病院機構呉医療センター中国がんセンター 呼吸器外科 科長 三村剛史
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 呼吸器外科 担当者：網岡 潤、坪川 典史 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5869